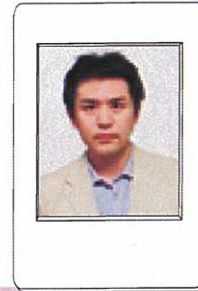


くるーはー



私たちの拠って立つところ

石川県精神保健福祉士会 総務部長 全国理事
岩尾 貴 (石川県立高松病院)

厚生労働省は、精神保健福祉士養成のカリキュラムの見直しを検討しており、昨年11月に見直しについての基本的な考え方が示されました。見直しの内容は、サービス利用の調整やリハビリテーションが強調され、中心理念である自己決定が消え、利用者との関係性を軸にしたソーシャルワークの軽視が危惧されます。こうした問題に対し、現場である私たちはもっと関心を持ち議論し、意見を言っていくべきだと思います。

昨年の日本精神保健福祉士協会全国大会で静岡県協会冬季研修会の報告集が配布されました。報告集の中で柏木先生は、「介護保険法、障害者自立支援法が施行されて、社会福祉の世界が気を失いつつある。行政の言うとおりにやっていたら、格好が付き、蛮勇をふるうような人がいなくなってしまった。効率化が重視され、人間関係の仕事というヒューマンサービスにおいて一番大事な人とのやり取りの中で熱気がなくなってしまった。(紙面の都合上筆者要約)」と発言しています。

昨今、精神保健福祉を取り巻く環境は目まぐるしく変化し、ともすると制度や政策に振り回されることも少なくありません。しかし私たちソーシャルワーカーの役割はあくまでも利用者の自己実現にむけた生活支援です。利用者との「かかわり」から見いだされる課題に対し、少しずつでも状況の改善を図れるよう環境に働きかけることは、重要な役割です。また、どのような状況であっても本人以外の都合が優先され、「本人不在」になることがないよう、利用者一人ひとりとの「かかわり」を個々の精神保健福祉士が検証していくことが大切だと思います。

県士会は、多くの会員の方々の活動によって成り立っています。日頃の悩みや課題について仲間同士と一緒に考えることも必要だと思います。今後も会員一人ひとりが活動に参加できる機会を増やし、熱気ある県士会を皆さんと一緒につくっていかねばと思います。

TOPIX

蔭西 操 (加賀市地域包括支援センター)

平成12年に介護保険制度が施行されてから、今年で9年が経とうとしている。フォーマルサービス導入ありきに陥りがちな介護保険制度におけるケアマネジメントの危うさ、高齢者自らが主体となって生きがいを獲得することにつながる支援の希薄さ等、高齢者を取り巻く課題は多岐にわたる。

特に認知症のある方はその思いを自ら発信する力が弱い、もしくは周囲の人達に理解されにくい故に、家族や地域等の意向に沿った本人不在のケアプランが作成され、サービス利用につながる事が多い。しかし、時間をかけた丁寧なかかわりが認知症の方の思いやその人のもつ力の理解につながり、その人の望む暮らしの実現に向けた生活支援を可能にする。そのためには、認知症のある方一人ひとりがもっているなじみの関係・環境を知り、住みなれた地域でのその人らしい暮らしの継続を支援していくことが必要である。

精神保健福祉士として大切なことは、認知症のある方を生活者としてとらえ、どのような暮らしをしてきたのか、今・これからどんな暮らしを望んでいるのかをその方自身とのかかわりの中から理解し続けようとする姿勢であると思う。



初企画!!

北陸三県合同ソフトボール大会

「研修なのにソフトボール？」

そんな疑問を持つ方もたくさんいらっしゃいましたが、教育研修部の異色企画である第1回北陸三県合同ソフトボール大会がH21.9.12に行われ、三県あわせて46名もの参加者が集まりました。当日はあいにくの雨でソフトボールは一旦中止、ボーリングに急遽変更となりましたが、富山の熱い担当者3名が「グラウンド整備してきます！」と意気込んでボーリングにも参加せずグラウンドに走っていきました。その熱い思いが通じたのか、日ごろの北陸三県のPSWの行いがよかったのか、雨は曇り空に変わり、1ゲーム終了後、念願だったソフトボールが行われることとなりました。

時間と天気の都合上、富山 vs 石川福井合同の1試合のみを行い、結果は石川福井のチームワークも、富山の事前練習で培った熱すぎるチームワークには後一歩届かず……。僅差で富山が第1回ソフトボール大会の優勝県となりました。



いいちや富山きときとやぜ～



いいざあ福井
のお～のお～



つえ～げん石川やうえ



きてくれてあんやとお～



のんまっし!!



たべまっし!!

そしてその熱い思いをそのまま懇親会へ。ともに汗を流したメンバーということもあり近年まれにみる飲みっぷり、皆さん豪快に酒を飲んでいました。後に数名から「飲みすぎて気持ち悪かった」と報告を受けるぐらいで、もちろん酒の量も富山が群を抜いており、大会と懇親会の両方も制していました。来年は石川も頑張りましょう。

初めての試みで課題も残る行事でしたが、三県のPSWが交流できただけでなく、県内のPSWとも今まで以上に交流する機会になったのではないのでしょうか。来年は富山で検討中です。今後ともこのような企画を考えていきますので、ご参加の程よろしくお願ひします。

基幹研修Ⅰに参加して



今回の基幹研修に参加したことは、日々の実践を振り返る良い機会になりました。経験豊富な先輩方のお話の中には、PSWの専門性、クライアントとの関わり、記録の大切さなど、学ぶことが多くありました。また、様々な領域で働くPSWの方々とグループワークを行い、悩みや不安を話し合うことで、それぞれの職場の特徴を理解したり、お互いの認識を深めることができました。

PSWとして働き初めて2年目を迎え、今年度からは認知症病棟を担当しています。業務に追われる毎日ですが、研修で学んだことを活かし、クライアント本人と関わる時間を大切に、意識を高く持って取り組んで行ければと考えています。今後、多くの実践を通して経験を積み、日々成長していきたいです。 松原病院 中川 晃一

今年、10月3日～4日にかけて、北陸三県合同で行われました基幹研修Ⅰを受講しました。まず初日。遠い昔に聞いたことがあるような気がする、人物の名前や法律が次々と出現！以前学んだ歴史や人物の事をほぼ忘れていた私。国家試験の勉強の時以来ついぞ聞かなかった事を聞き、資格を取得してからの月日の流れを、気付かされました。私たち精神保健福祉士の視点や価値観を共有し、日々の仕事の中で実践していく為には、歴史を振り返り、どのような過程を経て視点や価値観が形成されてきたか、学ぶ事は非常に重要な事だと思います。今後時々テキスト等を見て学ばないと…と心に誓う私でした。

そして2日目、「かかわり」について学びました。「かかわり」は私たちにとって唯一の武器、といっても過言でないほど大切なもの。その事をしっかりと再確認。最後はグループワーク。精神保健福祉士同士の研修といっても、その職場環境は大きく異なるもの。今回のグループワークではその違いの大きさと、それぞれの職場でどのような役割を果たしているか、またそれぞれの悩み等、普段なかなか聞けない他職場での話をみんなで聞き、みんなで共有する事が出来ました。今回、2日間の研修を通して、精神保健福祉士としての基本的な視点・価値観を再確認しながら学ぶことが出来ました。この基礎研修Ⅰ開催に当たって、ご尽力頂いた方々、本当にありがとうございます。今回、学んだことを、今後も日々の実践に活かしたいと思います。そして続いて基礎研修ⅡやⅢも…。どんどん様々な研修に参加したい！と思います。

ヒルズ長坂 生田 克実



新入会で～す

平成21年度には新入会が18人ありました。

現在、会員数は145人になりました。その中から新入会の3名の方にこれからの抱負などについて伺いました。

精神医療の分野の中で患者さんの生活支援に興味をもってこの仕事に就きました。日ごろの患者さんからの相談や日常的な会話の中で、その人の抱える悩みや問題を聴き、一緒に悩み、考えることは想像以上に大変なことです。その関わりの中で少しでも患者さんの問題解決につながるお手伝いできた時はとてもうれしく思います。まだまだ未熟なところもありますがよろしくお願いします。 結城病院 坂井 真吾（さかい）

昨年度までは県外にいましたが、今年度より縁あって石川県に移ってきました。県士会に期待することとして、会員の方それぞれがソーシャルワーカーとして安心して働いていくための後ろ盾のような組織となっていきたいと思うところがあります。また、ただ期待するだけではなく、私自身も県士会の一員として微力ながらも協力していければと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。 ビアサポートいしびき 堀米 俊平（ほりべー）

私は精神保健福祉士の資格を取得し4年目になります。現在に至るまで病院に併設する施設で働いてきました。これまでは目の前のことに夢中で、何か不明な点、不安な点があっても職場の中で対応することがほとんどでした。しかし今年協会に入会させていただき、自身と自身の支援をより客観的に振り返る機会を頂きました。今後は、研修や勉強会に意欲的に参加し、より幅広い意見を学び日々の支援に役立てていきたいと思っています。 よろしくお願致します。 青和病院 森倉 理恵子（もりこ）



医療法人 社団 長久会 (S41年開設)

○加賀こころの病院 (病床数 207 床)

Tel0761-72-0880 (代)

精神科急性期治療病棟 (35 床)

精神科療養病棟 (79 床)

精神一般病棟 (47 床)

認知症病棟 (46 床)

○地域ケアセンター

Tel0761-72-8087 (直通)

橋本謙、澤田、入江、林田

○デイケア ザ・ライヴ

○デイナイトケア

○ショートケア 佐川

長久会グループホームケアホーム

○長久会ショートステイ事業所

Tel0761-73-4700

長野 (世話人兼生活支援員)、向

○介護老人保健施設 加賀のぞみ園

(H元年開設) Tel0761-72-5211 (代)

開道 (施設ケアマネジャー)

伊藤 (支援相談員)

○加賀市地域包括支援センター (出向)

Tel0761-72-8186

蔭西

社会福祉法人 鶴寿会 (H6年開設)

岩尾 (施設長) 東 (施設サービス部長)

○一部ユニット型指定介護老人福祉施設

サンライフたきの里 Tel0761-78-0666 (代)

高村

○老人デイサービスセンターたきの里 美濃口

○小規模特別養護老人ホームつかたに

Tel0761-78-5701 長谷川

○小規模特別養護老人ホームちよくし

Tel0761-77-3911 大嶋

社会福祉法人 朋友会 (H7年開設)

Tel0761-72-4545 (代)

○就労継続支援事業【B型】(はるかぜワーク)

○グループホーム (ひだまり I~IV)

畑 (サービス管理責任者)

○相談支援事業所かが Tel0761-72-7779 (代)

喜多、河原、坂井 (相談支援専門員)

○地域活動支援センターかが

橋本季 (相談支援専門員)

社会福祉法人 共友会 (H12年開設)

Tel0761-44-5558 (代)

○就労継続支援事業【A型】

矢田野ファクトリー・やたの工房

小町 (サービス管理責任者)

○相談支援事業所

やたの生活支援センター

岡安 (相談支援専門員)

長久グループでは、23名のPSWが働いています。

適切な医療と必要なサービスの提供はもちろんのこと、どの事業所においても利用者の自己決定にこだわり、地域生活支援に取り組んでいます。若いPSWが多く課題は山積していますが、利用者とのかかわりの中でともに成長し合える関係が築けるように日々頑張っています！

次回は・・・ときわ病院です。

編集後記

今号もたくさんの方のご協力で発行することができました。ありがとうございます。

私たちは、会員みなさまがこの会報誌を通して、同じソーシャルワーカーとして「つながり」をちょっとでも感じてもらえたらと思っています。

年度の変わり目で何かと忙しい時期だと思いますので、みなさま体調を崩さないよう、体も心もいたわってお過ごしください。 (㊟)

